

項目	内容
名称	クスノハガシワ [英]Kamala、Kamcela、Kameela、Rottlera Tinctoria、Spoonwood [学名]Mallotus philippensis (Lam.) Mull.-Arg.
概要	クスノハガシワは、中国、インド、フィリピン、オーストラリアに分布するトウダイグサ科の常緑高木。主に地上部が用いられる。
法規・制度	<p>■ 食薬区分</p> <ul style="list-style-type: none"> ・樹皮：「専ら医薬品として使用される成分本質（原材料）」に該当する。 <p>■ 食品添加物</p> <ul style="list-style-type: none"> ・天然香料基原物質リスト クスノハガシワが収載されている。
成分の特性・品質	
主な成分・性質	・フロログルシノール誘導体 (PMID:12499591) などを含む。
分析法	・果実アセトン抽出物中のフロログルシノール誘導体をNMRにて同定した報告がある (PMID:12499591)。
有効性	
ヒトの 循環器・ 呼吸器 で	調べた文献の中に見当たらない。
の 消化系・ 肝臓	調べた文献の中に見当たらない。

評価	糖尿病・ 内分泌	調べた文献の中に見当たらない。
	生殖・泌尿器	調べた文献の中に見当たらない。
	脳・神経・ 感覚器	調べた文献の中に見当たらない。
	免疫・がん・ 炎症	調べた文献の中に見当たらない。
	骨・筋肉	調べた文献の中に見当たらない。
	発育・成長	調べた文献の中に見当たらない。
	肥満	調べた文献の中に見当たらない。
	その他	調べた文献の中に見当たらない。
参考文献	(22) メディカルハーブ安全性ハンドブック 第1版 東京堂出版 林真一郎ら 監訳 (29) 牧野和漢薬草大図鑑 北隆館 (30) 「医薬品の範囲に関する基準」(別添2、別添3、一部改正について) (34) 有用植物和・英・学名便覧 北海道大学図書刊行会 由田宏一 (80) 植物レファレンス事典 日外アソシエーツ (91) Registry of Toxic Effects of Chemical Substances (RTECS) (PMID:12499591) Chem Pharm Bull (Tokyo). 2002 Dec;50(12):1566-9. (PMID:15808798) Reprod Toxicol. 2005 May-Jun;20(1):149-56.	